2012/03/16 民主党　調達・公共サービス改革WT総会

公認会計士による評価

　・良い報告ができている省庁もあるが、一方で表面上だけの報告も目立った。

　・今回のような各省庁の調達改善計画の報告会を四半期ごとに行うことが必要である。

　・成功している民間の調達法を研究し、優良事例は参考にすべきである。

　・各省庁で調達担当を育てる、又は厳しい内部監査が必要である。

購買戦略研究所役員による評価

　・民間では、支出を品目別に整理し、支出の割合を多く占めている品目の調達改善を行うという手法を用いており、各省庁もこの手法で進めていくべきである。

　・定期的に調達担当が会議を行うべきである。それにより予算施行前に数量などの見直しを行うことができる。

小野塚衆議院議員のコメント

　・各省庁、より詳細な数字を示してほしい。

　・旅費法の不備を解消する為、各省庁からの要望があれば、法改正を検討していく。

　Q人事評価はどの様なシステムを導入しているのか。

　A実績評価を取り入れ、ボーナスにも反映している。(厚生労働省)

平衆議院議員のコメント

　・アメリカでは調達の際、制度によって徹底的競争が行われている。しかし現在の日本ではその様な制度は無い為、競争と随意契約どちらの立場をとるのか、明確にすべきである。

今後の「調達仕分け」スケジュール

　3月21日　各省庁より修正案提出

　3月下旬　　総会　中間コメント発表